



鍋嶋 麻奈

デジタルグリッド
バイスチェアマン
ニチレイ
社外取締役

着物文化と教育

シンガポールのDBS銀行ではマネジメント層が集まる一年に一度の会合の後にガラディナーがあり、女性たちはアジア各国の意匠を凝らした姿で参加していました。写真は私が東京支店の在日代表時代に日本で開催されたディナーのもので、私は着付けが不要な着物リメイクドレスを着て、お隣の方はバスローブの重ね着に風呂敷バッグという独創的なスタイルでした。

DBS銀行は東南アジアの主要国に支店があるため、文化の違いが仕事に及ぼす影響について企業研修を行っていました。例えばシンガポール人は曖昧さに対する許容度が高く、対する日本人は確固たる情報や実績を求めます。そのため仕事への取り組み方やスピードに差が出ることもあり、私自身も戸惑いを覚えることもありました。小学生時代を米国で過ごしましたので文化の違いを経験しましたが、社会人として海外

で仕事をして初めて分かることが多いと感じています。

海外での生活を通して、日本文化への関心も高まり、着物の色彩や文様に魅せられた私は、着付けを学び、美術鑑賞を楽しむようになりました。そして着物を洋服にアップサイクルして、普段着やビジネスシーンでも活用しています。そして誰でも着物を気軽に着られるように、着物リメイクドレスや蝶ネクタイの販売・レンタルを始め、収益金を高校卒業時点で児童養護施設を退所しなければならない若者への奨学金や生活資金として役立てていただけるよう、ささやかながら寄付しています。今の私があるのは奨学金制度のおかげで米国の大学や大学院に留学することができたからです。奨学金によって人生が変わったと感じており、これからも着物文化を大事にしながら、教育機会の提供につなげていきたいと思っています。

